

県 広 報

とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/輝くあなたを応援します
富山県女性総合センター
“サンフォルテ” オープン



5



「平和や生命の尊さといった普遍的なテーマは、民衆の目で捉えてはじめて生きてくるものなんです」と語るのは、このたびドキュメント番組「赤紙配達人」ある兵事係の証言〜で文化庁の芸術選奨新人賞を受賞した北日本放送報道部ディレクター、金沢敏子さん。

「赤紙配達人」は、文化庁芸術祭賞優秀賞や民間放送連盟賞など数々の賞を受賞。「歴史の表舞台から切り捨てられた部分にこそ、問題の本質が眠っている」と思います。この映像が人々に多くのものを訴えたのは、その影の部分を見ていたからでしょうね。また、番組を見た人から「証言者の一言一言が、戦争のことをほとんど語らず逝ってしまった父の言葉のように聞こえた」と手紙をもらったときは胸が熱くなったといいます。

「今は、胸の内を語っていた方々に心からありがとうといいたいです」と語る金沢さんのすがすがしい表情は、伝えたかった歴史の真実を映像に刻むことができたことへの安堵感にあふれていました。

ひととやま 遊学感

民衆の視点で描いた戦争史

北日本放送報道部ディレクター 金沢敏子さん

「平和や生命の尊さといった普遍的なテーマは、民衆の目で捉えてはじめて生きてくるものなんです」と語るのは、このたびドキュメント番組「赤紙配達人」ある兵事係の証言〜で文化庁の芸術選奨新人賞を受賞した北日本放送報道部ディレクター、金沢敏子さん。



5 CONTENTS

- 1 富山県林業試験場 樹木園
2 クローズアップ
3 富山県林業カレッジ二期生修了式
4 富山県畜産試験場竣工式
5 富山勤労者総合福祉センター 開館記念式典
6 特集/輝くあなたを応援します 富山県女性総合センター サンプルテ オープン
7 ひとアズとやま/ 北日本放送ディレクター 金沢敏子さん
8 PINUP TOYAMA 写真/滝川邦彦 (日本写真家協会会員) 詩/池田瑛子 (富山現代詩人会会員)
9 ふるさとみてある記 (小杉町)
10 ①小杉童謡の会
11 ②落語家 樋口二雄さん
12 ③劇団ラポール
13 エッセイ/安川涼子 (安川ファッションアート専門学校副校長) トピックス/ 精神保健福祉施策の推進
14 ①富山県心の健康センター業務開始
15 ②精神障害者社会復帰モデル施設 「ゆりの木の里」一部オープン
16 県からのお知らせ
17 暮らしのアドバイス
18 とやま水紀行/ 宮島峡 (小矢部市)

樹木に親しみ、緑に憩う

富山県林業試験場「樹木園」

レポーター：茂住晶子さん (洗足学園魚津短期大学) (表紙の人)



今回私が訪れた富山県林業試験場「樹木園」は、自然のなかで楽しみながら樹木に関する知識を深めることができる樹木の専門植物園です。さっそく、同園の水野さんに園内を案内していただきました。



平野から山々までが一望できるアーバータワー

約三十分ほど歩いて山頂に到着。ここには、三六〇度のパノラマで県内を一望できる「アーバータワー」があります。水野さんによれば、平野の水田が水で満たされる今の時期の眺めは格別のこと。また、タワーに隣接して「木の実の家」と名付けられたログハウスがあり、林で拾ってきたドングリや木の葉を使った工作などが楽しめるようになっています。

富山県林業試験場樹木園
場所 立山町吉峰(岩船寺駅から徒歩15分)
入園料 無料
電話 ☎ 0764 (83) 2259



森の声を聴いてみよう

木の香りが漂う「木の実の家」



せせらぎが澄んだ音を奏でる

表紙

表2

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

知・ズ・アツプ

二十一世紀林業の旗手をめざして

富山県林業カレッジ普通課程修了式〔3月18日〕

富山県林業カレッジ普通課程の修了式が三月十八日、同カレッジで行われ、第一期生となる五名の修了生たちが二年間の課程を終え、新たな林業の担い手として巣立ちました。

式では、太田県森林公社副理事長が、「明日の林業を担う若手の誕生を嬉しく思う」とあいさつした後、五名の修了生一人ひとりに修了証を授与。続いて、武部校長が「高性能林業機械の技術をはじめ、林業全般について学んだ修了生の皆さんには、富山県林業の振興に大いに貢献してほしい」と式辞を述べました。最後に修了生を代表してあいさつに立った浜屋博さんは、「恵まれた環境と親身な指導で、貴重な技術を身に付けることができ

た。今後は、高度な技能訓練を積んだ木こりとして活躍したい」と抱負を述べました。

同カレッジは、林業分野では全国初の認定職業能力開発校として平成七年四月に開校。国内の産地間競争に対応できる県産材時代の構築をめざし、若い後継者の育成を図っています。今後、修了生たちは、高性能機械化チームを編成し、県内一円での伐採業務などに活躍する予定です。

新たな畜産の振興拠点が完成

富山県畜産試験場竣工〔3月26日〕

婦中町の千里前山に移転・建設が進められていた富山県畜産試験場が完成し、三月二十六日、同試験場で竣工式が行われました。

式では中沖知事が、「高能力乳用牛の普及や豚のSPF化など、畜産技術の開発に積



極的に取り組んでいきたい」とあいさつ。中沖知事、松川農林水産省畜産試験場長、森野婦中町長らがテープカットをして完成を祝いました。

▲県民に開放される動物舎

あり、遺伝子の解析による家畜の育種改良を行うほか、体外受精や核移植により、産地間競争を勝ち抜くことができる優良な家畜をつくり出すことに努めていきます。また、実験棟では、家畜の栄養代謝実験や肉質の調査など、高度な実験が可能となっています。さらに、ウサギやヤギ、ポニーなどを飼育する動物舎は、「ミニ動物園」として県民に開放されます。今後、同試験場は、隣接する肉用牛センター及び種畜供給センターと連携し、畜産における総合的な技術センターとしてその振興を担っていきます。

同試験場は、研究棟や実験棟、動物舎、牧草乾燥舎などで構成。研究棟には、レーザー顕微鏡室やバイオ実験室が



県・政・の・動・き

平成9年3月9日～平成9年4月10日

- 3月18日 富山県林業カレッジ普通課程（1期生）修了式
- 3月20日 TOYAMA NOW in 原宿'97（～23日）
- 3月26日 富山県心の健康センター 富山県精神障害者更正相談所 富山市保健所 新築工事竣工式
富山県畜産試験場竣工式
- 3月27日 富山県女性総合センター「サンフォルテ」竣工式
- 4月1日 辞令交付式
県庁前公園花時計始動式
- 4月8日 富山県立大学及び短期大学部入学式

▶試験場の中枢、研究棟



働く人の

リフレクシユ空間が誕生

富山勤労者総合福祉センター「とやま自遊館」オープン〔4月15日〕

富山県北地区において建設が進められていた富山勤労者総合福祉センター（愛称「とやま自遊館」）の開館記念式典が四月十五日、同センターで行われました。

関係者によるテープカットで開館を祝った後、ホールで行われた開館記念式典では、清水雇用促進事業団理事長が「この施設が多様化する勤労者ニーズに応え、広く県民に親しまれることを期待する」とあいさつ。続いて中沖知事が「県としても運営を支援するとともに、今後とも積極的に勤労者福祉の推進を図っていききたい」と祝辞を述べました。

同センターは、雇用促進事業団を主体に県、富山市の出資により設置された施設。地下一階、地上六階建ての館内には八百名収容のホールをはじめプール、フィットネスジム、各種研修室、宿泊施設などが備わっているほか、労働関係機関が入居し、職業情報の提供等を行います。また、富山県女性総合センター「サンフォルテ」とは二階部分で連結し、機能分担当られています。



勤労者が集い、交流し、思いのままにリフレッシュできる新しい「自遊空間」の誕生です。



▲一人ひとりに修了証を授与



▲実地研修を行う訓練生

▼富山県林業カレッジ



▲ジャグジー



▶トレーニングジム



輝くあなたを応援します

富山県女性総合センター

“サンフォルテ” オープン



県が富山市湊入船町（富山駅北）に整備を進めてきた富山県女性総合センター“サンフォルテ”が4月24日、オープンしました。

この施設は、男女がともに自立し協力しあい、女性を取り巻く問題の解決を進めながら「みのり豊かな男女協同社会」の実現をめざす活動拠点となるものです。

ここでは、様々な機能を備えるサンフォルテの施設概要を紹介します。

愛称「サンフォルテ」について
女性と男性が「太陽」のように輝きながらともに自立し、男女協同社会の実現に向けて「力強く」生きていく姿勢を表したネーミングで、公募作品から選定しました。

何かが見つかる情報の宝庫 一階 情報とくらしの空間

〈図書室（ウイメンズ・ライブラリー）〉

女性問題に関する図書や資料、ビデオなどを豊富に収集し、これらを自由に閲覧できるほか、貸出しも行っています。

また、調査・研究のための個人読書席をはじめ、親子で読書が楽しめる親子読書室、グループでの読書会に便利なグループ読書室、お茶を飲んでくつろぎながら本が読めるラウンジ読書席なども備わっています。

〈相談コーナー〉

女性を取り巻く様々な問題について、電話や面接による相談を行っています。また、同じような悩みを持つ人たちが、グループで話し合えるグループ相談室もあります。

〈展示コーナー〉

女性問題や消費生活などに関する資料を展示するためのスペースで、学習、研修、交流などの成果の発表・展示の場としても活用できるようになっています。

なお、同フロアには富山県消費生活センターがあり、消費生活に関する相談や知識の普及、情報の提供、最新の機器による商品テストなどを行っています。



▲広々とした1階エントランス



▲各種の本、資料がそろった図書室

自由空間に広がる交流の輪

二階 体験と交流・ふれあいの空間

〈ホール〉

約三百五十人が収容できるホールは、可動席や二分割ステージを備え、講演会や研修会、映画会など様々な用途に対応できるようにになっています。

また、小さなお子様と一緒に観覧できるように、親子室が設けられているのも大きな特徴です。

〈交流サロン・ミーティングスペース〉

ラウンジ的な雰囲気が漂う広々としたフリースペースで、利用者や小グループの交流や憩いの場としてご利用いただけます。なお、コーナーには喫茶カウンターが配置してあります。



▲くつろいだ雰囲気の交流サロン・ミーティングスペース



▲親子で観覧できる親子室



▲350人収容のホール（ステージ奥の壁が大きな窓になる）

机が設置できる
ホール座席

生活体験実習室・調理実習室

料理を通じて交流の輪を広げる料理コーナー、木工などの工芸が学べる工作コーナー、様々な介護機器が備わった介護体験コーナーの三つのコーナーを設けています。これらは、男女の固定的な役割分担意識にとらわれない新しいライフスタイルを求めて、様々な体験ができるスペースです。

託児室・授乳室

利用者が安心して講座などに参加できるように、催しの主催者が小さなお子様をお預かりする託児室があります（予約制）。また、授乳室を用意してあるので、乳児をお連れの方も安心してご来館いただけます。

このほか、サンフォルテに登録されたグループ・団体が書類などを保管できるロッカー室や、自由に交流できるグループ・団体交流室を用意しています。なお、同フロアに入居する富山県女性職業サービスセンターでは、就業を希望する女性に対する相談・指導、実技講習を行っています。



生活体験実習室 (料理コーナー)



男子トイレにもベビーシートを設置



グループ・団体交流室

多様な活動は一人ひとりの文化に

三・四階 自己啓発と研修の空間

研修室

学習会や研修会など、多様な活動の場として、十五〜百人程度の利用に対応できるように、規模の異なる研修室を設けています。

多目的スタジオ

エアロビクスなどの軽運動から、民謡・音楽サークルの練習まで、文字通り多目的



多様な用途に応える各種研修室



活動の幅が広がる多目的スタジオ



に利用できるスタジオです。遮音性に優れ、存分に活動を楽しんでいただけます。

このほか、パソコンやワープロなどのOA機器の研修を行うOA研修室や、茶道、華道、着付けのほか日本文化をベースとする催しに対応できる和室も設けてあります。

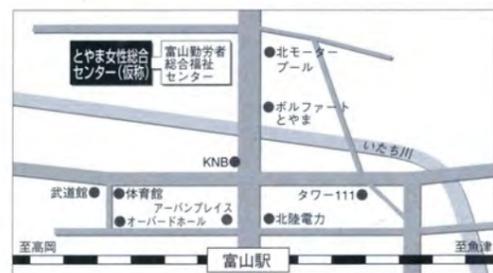


和室



日本庭園を模したスペース

輝くあなたを応援します
富山県女性総合センター
“サンフォルテ”
オープン



新たなライフスタイルづくりに向けて



富山県女性財団専務理事 山下節子さん

社会的な性別の払拭を

男女の枠にとらわれずに一人ひとりの個性を伸ばし、そのうえに自立した新しいライフスタイルをつくってもらう。これが、サンフォルテの第一の役割です。そのためには、まずジェンダー（社会的につくられた性別）を拭い去ることが大切。つまり、育児や介護は女性が、日曜大工は男性がやるものといったような固定観念こそが、男女の自立を妨げている大きな要因なのです。

女性のエンパワメントを支援

富山県では、女性の管理職への登用率などがまだまだ低いのが実情です。これを改善していくのに必要なのは、女性自身が力をつけること。そのための勉強の場としてサンフォルテが大いに活用されることを望みます。富山県の女性は行動力があるので、社会環境さえ整えば一層の飛躍が期待できます。ちなみに私たちの職場にもフレキシブルな女性職員がいますが、ホールの機械装置などを触ることなく操作する彼女たちの姿に、これからの女性の一つのスタイルを見るような気がします。

サンフォルテでは皆さんが主役

サンフォルテでは、登録グループを随時募集するとともに、各グループのネットワークづくりを支援します。もちろん、グループ・団体交流室をはじめとした施設機能をどんどん活用してもらいたいのです。なお、女性リーダー養成講座や男性セミナーなど多彩な主催事業を展開しますので、女性の方も男性の方も、ぜひご参加ください。大切なのは「性別」ではなく一人ひとりの「個性」。見つめたいのは女らしさ、男らしさではなく「自分らしさ」です。サンフォルテは、そんなコンセプトから生まれた自由空間。ここで出会う人や情報、新たな体験や発見は、暮らしへの、そして未来への提案にもなります。皆さんもサンフォルテで新たな生き方を表現してみませんか。

◆◆◆ 利用案内 ◆◆◆

富山県女性総合センター サンフォルテ

【開館時間】9時～21時（日曜日は17時）

▼図書室 9時～20時（日曜日は17時）

▼相談コーナー

火曜～土曜 9時30分～12時

13時～16時

☎0764 (32) 6611

【施設利用申込み】

▼受付開始日

ホール：利用日の6か月前の月の初日から

ホール以外：利用日の3か月前の月の初日から

▼受付時間 9時～17時

【休館日】毎週月曜日 国民の祝日 年末年始

サンフォルテ入居機関

消費生活センター

【開館時間】8時30分～17時

【休館日】毎週土・日曜日 国民の祝日 年末年始

☎0764 (32) 2949 (事務所)

☎0764 (32) 9233 (相談専用)

☎0764 (33) 3252 (金融相談)

女性職業サービスセンター

【開館時間】8時30分～17時

【休館日】毎週土・日曜日 国民の祝日 年末年始

☎0764 (32) 0234

その他

富山パートバンク ☎0764(44)8305

富山市女性交流センター ☎0764(33)2760

(財)2世紀職業財団分室 ☎0764(44)2020

(財)富山県婦人会 ☎0764(41)4747

彗星が振りはらった
星くずだろうか
乱舞する螢のような あれは
もしかしたら 海の涙だろうか
どんなことも 黙って
受け容れるよりほかはない海の
深い水底からこみあげてくる
哀しみに炎^もえる瑠璃の涙

宇宙の彼方より
駈けぬけていくヘール・ボップ彗星
妖しく神秘的な松明^{たいまつ}を高く揚げて
捜してくれませんか
行方のわからない
迷子の衛星を

PIN UP TOYAMA
ピンナップとやま

ふたご
みどり
記

小杉町

人口 / 31,580人
面積 / 41.22km²
(平成9年3月1日現在)

〈小杉町の概要〉
富山・高岡の中間に位置し、太閤山ニュータウンの建設により人口が急増。また、技術開発施設や研究機関が立地し、先端技術の拠点となっている。
八月に行われる「小杉みこしまつり」は手作りによる創作みこし等、百基余りのみこしが町内を練り歩くユニークな一大イベントとなっている。



童謡の魅力を伝えたい

小杉童謡の会

誰もが口ずさんだことのある童謡を楽しみながら次代へ歌い継ごうと活動しているのが、小杉童謡の会だ。

「昨年八月に結成して以来、「あかとんぼ」や「どこかで春が」などをレパートリーに、既に七回のステージを経験しています」と語るのは、小杉童謡の会代表の土田澄子さん。小杉町文化ホール「ラポール」を拠点に活動する同会には、四十代から八十代までの男女約百六十名が参加している。練習は終始明るく和やか。「会の結成後、会員の皆さんのラポールに対する認識が「高いお金を出して、難しい音楽を聴きに行くところ」から「私たちのラポール」へと変わりましたね」と土田さん。三月には重油流出事故チャリティーコンサートを成功させたところだ。同会のほかにもラポールを拠点とする合唱団体は数多く、それぞれが年代や目的に応じて歌を楽しんでいる。「どの団体も小杉を歌の町にしようとはりきっているんですよ」と土田さんは嬉しそうだ。

六月には大正琴とのジョイントコンサートを予定。「将来は、幼稚園や老人ホームでもコンサートを開きたいですね」。童謡の会は、これからも素朴な美しさを持つ童謡の輪を町全体に広げていくことだろう。



▲大いに盛り上がった琴とのジョイントコンサート



▲土田澄子さん



▲毎週1回、熱心に練習をこなすメンバーの皆さん



▲樋口二雄さん



落語好きから落語家へ

素人落語家 樋口二雄さん

玄人はだしの話芸で観客を小喃の世界に引き込んでゆく。小杉家童落。と樋口二雄さんは県内でも数少ない素人落語家の一人だ。

樋口さんは北海道生まれの東京育ち。「子どもの頃、よく浅草や上野の寄席に通いました。その経験が今の活動につながっていると思いますね」。五年前に腰を傷めたことで、座って出来る趣味として落語に挑戦。毎晩テープやビデオで研究し、四年前に小杉落語研究同好会を旗揚げした。「世間体を気にする土地柄のせいか、メンバー集めには随分苦労しました。今では六人の仲間と一緒に楽しくやっています」。

樋口さんが得意とするのは、「芝浜」「文七元結」などじっくり聞かせる人情ものの古典落語。「芝浜」は、しっかり者のおかみさんが酒や博打に興じる亭主を元の働き者へと改心させる物語だ。「落語といっても笑いだけでなく、涙を誘うものもあるんですよ」。



落語に登場する人物は生活能力に欠けてはいるが、周囲への思いやりにあふれているという樋口さん。「古典落語が今も色あせないのは、自分もそうやって生きたい、という願いがあるからかもしれないですね」。樋口さんの絶妙な語り口は、これからも庶民の心情をいきいきと蘇らせてくれるに違いない。

町に伝わる民話を演劇で

劇団ラポール

「小杉町に息づいている風俗や歴史を伝えるため、町に伝わる民話をもとにした演劇を発表しています」と語るのは劇団ラポールの事務局の田村京子さん。平成五年に結成された同劇団は、町在住の作家、須山ユキエさんを代表に約二十名で構成。「主婦が多いので、練習時間の確保が大変ですね。でも、中には親子で参加する熱心な人もいますよ」と田村さん。これまで、町の芸能祭などで「新・飯くわぬ女房」「河童」「笹山の小清水」の三つの作品を発表。いずれも、町の民話を脚本・演出化したものだ。「特に、薬師寺池周辺に伝わる民話をもとにした『笹山の小清水』では、メーキャップはもちろん大道具や小道具作りまですべて自分たちでやったんですよ。また、特別養護老人ホーム「エスポワール小杉」では、『河童』を再演し、大変喜んでもらったという。『どの芝居にも最近あまり使われないような方言がたっぷり入っているの、会場は大いに盛り上がりました」と田村さんにはっこり微笑む。



舞台終了後に、次回はどの民話をとりに上げるのかと尋ねられることもしばしば。そんな期待に応えてこれからは

劇団ラポールは、楽しい芝居で町の人々をほのぼのとした気分にしてくれることだろう。



▲田村京子さん



▲方言たっぷりのユーモラスな舞台

精神保健福祉施策の推進

富山県心の健康センター業務開始

社会生活環境の複雑化に伴って心の健康づくりが重要な課題となるなか、県が富山市蛭川地区に整備を進めてきた富山県心の健康センターが4月から業務を開始しました。

同センターでは、既にストレス対策事業として「リラックス体験」や、保険診療に基づく一般診療を実施しています。また、7月からはストレス克服の自立訓練法を修得するリラックスセミナーや、精神医学、心理学の専門職員が検査・助言・指導を行うストレスドックの実施を予定しており、さらに、スポーツや文化活動を通じて精神障害者の社会生活機能の回復を図る精神科デイケアも7月から実施することになっています。



▲富山県心の健康センター
(富山市保健所 県精神
薄弱者更生相談所併設)

▶リラックスルーム

◀デイケア施設

精神障害者社会復帰モデル施設 「ゆりの木の里」一部オープン

精神障害者の社会復帰に向けての拠点施設として、4月に精神障害者社会復帰モデル施設「ゆりの木の里」が一部オープンしました。

この施設は、作業訓練や生活訓練、生活支援、地域住民との交流など、5つの機能を備えた全国のモデルとなる複合的社会復帰施設で、今回オープンしたのは通所授産施設と地域生活支援センターの2つです。

通所授産施設は、衣服の仕上げ加工や電気部品の組立てなどを行う作業室、パン製造などを行う調理実習室からなります。地域生活支援センターには、相談室、浴室、集会室などがあり、精神障害者の方々の憩いの場となっています。

また、喫茶コーナーは一般の皆さんも利用でき、地域交流の場として機能することが期待されています。



▲喫茶コーナー

◀通所授産施設
(衣服の仕上げ加工)



私の人生の デザインとは

安川ファッション・アート専門学校副校長
安川涼子

どうも私には観察好き、工夫好きな特性があるらしく、いろんな物を見て歩き、いろんな文物にふれる刺激がなんともたまらなく、それらは知らないうちに自分のアイディア・ソースとなつていきます。私にはこんな時の過ごし方が性にあっていみたいですね。

そして、気がついたら人からデザイナーと言われるようになっていました。

さて、ここで私にとって「デザイン」という言葉はどんなふうに使われているか考えてみたいと思います。洋服のデザイン、インテリアデザイン、街並みデザイン、自分の人生をデザインする、人間関係をデザインする、など……。生活文化と捉えてみれば、日常の全てがデザインされていることになりそうです。結局、デザインとは自分なりに納得のいくように物事を考えて創造する事かなと思います。

デザインとの最初の出会いは、幼少の頃(昭和三十年代)にいつも見ていた外国のファッション雑誌の色彩の美しさと。昨今の情報が氾濫する時代と違い、当時の私にとっては外国との格差は夢のようなものでした。日常とは何かが違うと感じ、知らず知らずのうちに魅入られた、このカルチャーショックが私の美へのあこがれの原点のようです。

二十代の最初に訪れたソ連での感激は、言葉では言い表せない事のひとつです。エルミタージュ美術館、ピョートル大帝の宮殿等、旧ロシアの贅を尽くした素晴らしさと、長い長い歴史の歩みと重みに触れ、圧倒さ

れ、初めて自分のちっぽけな存在を感じたものです。

そしてビートルズにあこがれてのロンドンでの生活。丁度バンク・ファッションの真っ盛りで彼らの生活から生み出された切実な文化に触れ、日本で思い描いていた自分なりの感覚とのギャップに新鮮な驚きを感じ、運まきながら可能性への挑戦、人生の設計を立て直す(デザインする)ターニングポイントとなりました。

また、人との出会いも大切な要因のひとつです。学生時代に出逢った人達とのつながりは、今も大切な私の財産となつていいます。同じアメリカンスクールの生徒だった何人かの友人は、それぞれの国へ戻って活躍し、いろんなアイデアを生み出してきています。学生時代の沢山の留學生との交流も、現在の自分のライフスタイルの一部なのです。

私の現在の仕事に欠かせない審美眼やインスピレーションは、これらの蓄積から生まれました。つまり、異文化との触れ合いと、いろいろな人々との繋がりが生かされて、ボーダレス時代における今の自分があるのだと確信しています。

Essie

県からの お知らせ

募券集

消費者スクール・くらしの一日教室 受講生募集

●消費者スクール

(6月～12月まで10講座)

募集期間 4月10日～5月30日

募集定員 120名

会場 富山県女性総合センター「サンフォルテ」

受講料 無料

問合せ・申込み 富山県消費生活センター(サンフォルテ内)
富山市湊入船町6番7号(〒930)

☎0764-32-2949

●くらしの一日教室

(5月～12月まで10講座)

対象 一般県民

募集期間 4月10日～5月9日

募集定員 70名

会場 高岡市本丸会館 高岡市本丸町7の1

受講料 無料

問合せ 富山県消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7の1(〒933)

☎0766-25-2777

族やお友達を誘って出かけませんか。

なお、キャンベーン実施協議会では、11月末までのイベントスケジュール「富山イベント330」を配布しております。ご希望の方は、県庁観光通商課までご連絡ください。

☎0764-44-3200

旅券パスポート(申請書用紙の) 市町村庁舎への配置について

4月から、市役所や町村役場にも旅券(パスポート)申請書の用紙を備えておりますので、ご希望の方はご利用下さい。

なお、パスポートの申請、交付は従来どおり富山県旅券センターでのみ行いますので、ご注意ください。

問合せ 富山県旅券センター
(富山駅前マリエとやま7階)

☎0764-45-4581

みなさんの相談窓口

- 県政について**
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代)
31-3131(県民相談電話)
FAX 44-3300(県民相談ファックス)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)

●**物価ダイヤル**
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)

●**消費生活については**
消費生活センター

富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)33-3252

消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777

●**交通事故については**
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400

●**相談110番**
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110

●**シルバー110番**
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110

●**よい子の育児電話相談**
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

みなさんの相談窓口

- テレビ広報**
■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM7:00～7:15
「ふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30
「112万人のひろば-クイズ/フォーカス/イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30
「こんにちわ富山県です」
5/4 我がまちふるさと自慢 ～入善町～
5/11 畜産試験場新築移転
5/18 隣人から親友へ～ロシア沿海州友好提携5周年～
5/25 考えてますか?ゴミ問題

●**ラジオ放送**
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55

●**新聞広報**
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成9年 6月 街頭献血日程

日	曜日	献血場所	時間
1	日	JR富山駅前 JR高岡駅前	10:00～16:30
14	土	富山アピタ	10:00～16:30
19	木	立山町役場前	12:30～16:00
24	火	入善町役場前	12:30～16:00
25	水	上市町役場前	9:30～12:00
29	日	富山市中央通り	10:00～16:30

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等をご確認ください。

●**マリエとやま6階の献血ルーム**では、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。
受付時間 全血献血 10:00～12:30 14:00～18:00
成分献血 10:00～12:00 14:00～17:30

●**マリエ献血ルーム**(☎0764-45-4500)
血液センター(☎0764-51-5555)

お知らせ

平成10年 歌会始のお題及び詠進歌について

お題 「道」

詠進要領 詠進歌は未発表の自作で、一人一首に限り、用紙は半紙とし、毛筆で自書して下さい(書式図参照)。病氣等で代筆する場合は、代筆の理由と代筆者の住所氏名を記載した別の紙を添えて下さい。点字でも応募できます。

詠進期間 9月30日まで(当日消印有効)

あて先 〒100

東京都千代田区千代田1番1号

宮内庁(封筒に「詠進歌」と書き添えて下さい。)

問合せ 県庁秘書課
☎0764-31-4111

(内)2436

〒住所	道
氏名	
生年月日	
職業	

富山県中央植物園催し物案内

●クレマチス展

クレマチスの野生種と様々な品種を屋外のクレマチス園で展示します。また、サンライツホールではパネル展を行います。

日時 5月30日(金)～6月11日(水) 午前9時～午後5時

(入園者は誰でも見学できます。)

●和紙を作ってみよう

植物の繊維を利用した和紙作りの実技を行います。

日時 5月30日(金)～6月1日(日) 午前9時～午後5時

場所 富山県中央植物園 サンライツホール
講師 平村和紙工芸研究館職員

改口発元

悪質商法にご用心

高金利をうたい文句にした「利殖商法」、就職難の不安に乗じた「資格商法」、容易に利益が得られると言葉巧みに誘い込む「マルチ商法」や「内職商法」など、街には皆さんを狙う「悪質商法」があふれています。

被害に遭わないためにも、次のことに注意しましょう。

◎うまい話には、必ず裏があることを自覚しましょう。

◎一人で決めず家族などに相談しましょう。

◎もし、被害に遭ったときは、泣き寝入りせずに最寄りの警察署や交番に相談しましょう。

子どもにやさしい環境を

毎年5月5日から11日までの一週間は、児童福祉週間です。今年の標語は、「げんかをするときみしいよ なかよくす」。

参加費 無料(入園料は必要)
問合せ 富山県中央植物園
☎0764-66-4187

平成9年 商業統計調査の協力をお願い

6月1日現在で、全国全ての卸売・小売業を営む商店を対象に商業統計調査が行われます。調査員が、5月中旬から6月中旬にかけて皆様の商店を訪問しますのでご協力をお願いいたします。

調査日 平成9年6月1日現在

調査対象 卸売・小売業を営むすべての商店

調査事項 従業者数、年間商品販売額等

問合せ 県庁統計課 ☎0764-44-3193
または、最寄りの市町村統計担当課

平成9年度 中小企業設備近代化資金貸付の申込案内

県では、中小企業の皆さんが新鋭機械設備を導入する際に必要な資金を、無利子で貸し付けています。

貸付金額 50万円以上4,000万円以下で対象設備額の1/2以内

償還期間 原則として5年以内(据置期間を含む)

受付期間 第1回 5月1日(木)～5月23日(金)
第2回 8月1日(金)～8月20日(水)

問合せ 県庁中小企業課
☎0764-44-3248

いきいき富山観光キャンベーン'97 イベント情報誌配布のお知らせ

10月末まで、「いきいき富山観光キャンベーン'97」を実施中です。県内各地で魅力あるイベントが盛りだくさん。家

と楽しいよ」。近年、子どもを取りまく環境は大きく変化してきています。子どもが健やかに生まれ育つために、家庭や地域が一体となって、よりよい環境づくりに努めましょう。

「県広報とやま」の購読について

本誌「県広報とやま」は、郵送サービスを行っております。

郵送による定期購読をご希望の場合は、住所、氏名、電話番号、購読期間(〇月号～〇月号)を明記し、郵送料として190円切手を必要枚数(1月あたり1枚)を同封のうえお申込みください。

なお、本号からは各市役所及び町村役場窓口にも若干部を配置する予定です。

申込み・問合せ.....
〒930-80(住所記載不要)
県広報課 ☎0764-44-3134

容器包装リサイクル法がスタートしました。

暮らしの
アドバイザー



Q 四月一日から容器包装リサイクル法がスタートしたと聞きましたが、どのような法律なのですか？

A 正確には、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」とい、平成七年六月に制定され、今年四月一日から施行となったものです。
この法律では、増え続けるごみ（一般廃棄物）のうち、その多くを占める「容器包装」のリサイクルを図るため、消費者・市町村・事業者がそれぞれ次の責任を分担することとしています。

- ◇消費者…市町村の基準に従って、正しく分別排出する。
- ◇市町村…分別収集計画を策定し、それに従った分別収集を行う。
- ◇事業者…市町村が適切に分別収集した容器包装廃棄物を、自ら又は指定法人等に委託し再商品化する。

この法律でいう容器包装とは、●金属缶 ●ガラスびん ●プラスチック製容器（ペットボトル、その他） ●紙製容器包装（紙パック、ダンボール、その他）で、基本的には全ての容器包装が対象になります（ペットボトル以外のプラスチック製容器、紙パック以外の紙製容器は平成十二年度から対象）。
消費者は、各市町村で実施される分別収集に合わせて「きちんと分けて」ごみを出すことはもちろんのこと、詰め替え可能な商品の使用や簡易包装に心がけ、容器包装廃棄物をなるべく出さないようにすることが大切です。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★「赤紙配達人」を見た。どんなドキュメント映像にも勝る衝撃を受けた。赤紙が何かの間違ひではないかと訴える者、国に夫を奪われた妻たちの怒り、負傷すれば死ななくてはむと弾丸が体をかすめるのを願った兵士…
そこにあるのは、国益に踊らされた民衆の真の姿。戦争を少しでも美化するものは全てこの世から無くなれ、と心底思った。(K)

★「みてある記」で取材した落語家の樋口さん。取材中は奥様との仲睦まじさに素直に感激。奥様はマネージャーとして樋口さんを支えてこられたという。二人三脚でシニアライフをエンジョイする姿がとても眩しかった。ところで多趣味な樋口さんは、六月には富山市中央通りで県民カレッジ自遊塾・掛け軸の作り方教室を開催予定。興味のある方は気軽に参加してみたいか？(I)

★今月号を最後に広報課を離れることになった。思い起こせば「ふるさとみてある記」で初めて取材というものを経験し、自分の書いた原稿が二頁にわたって登場したときは、何とも言えず嬉しかった。原稿を書くことに慣れない私を今まで支えてくれた人達には、改めてありがとうといいたい。(A)

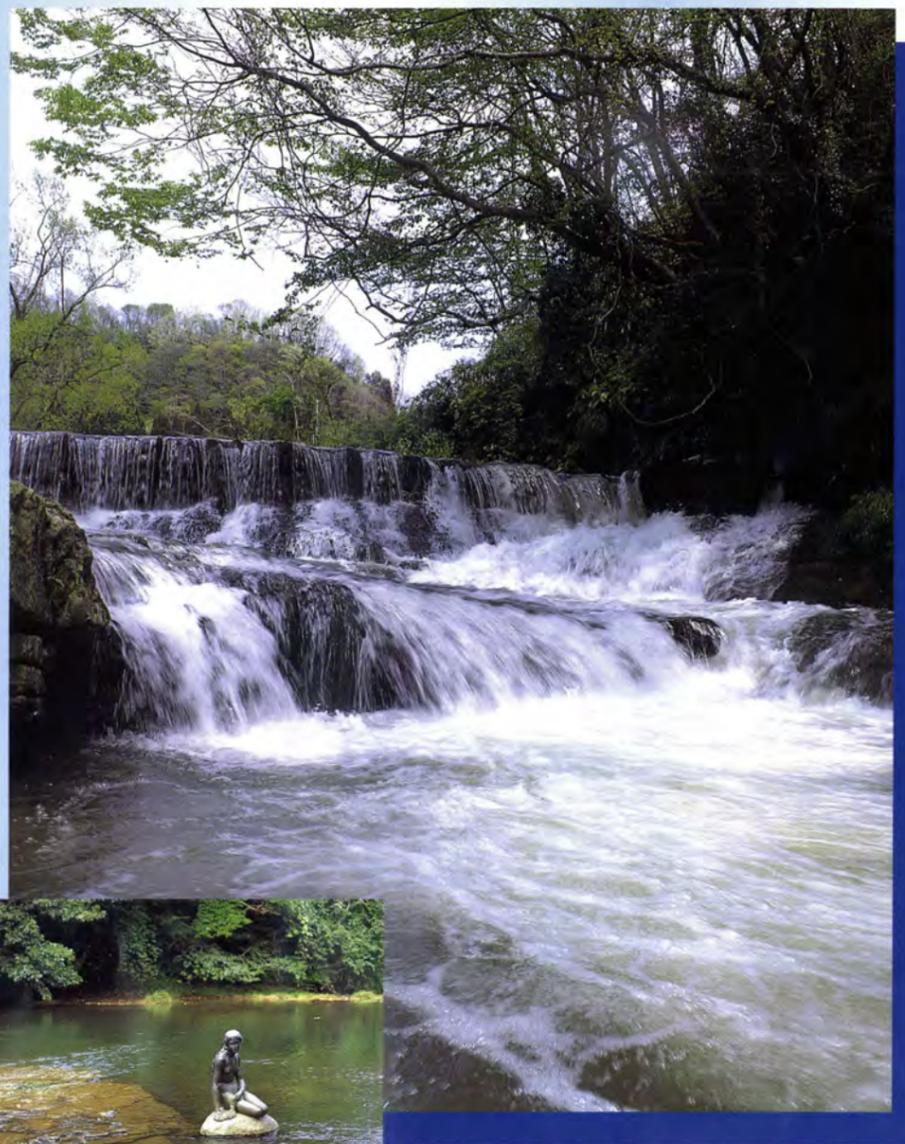
今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真
を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18
センチ)でプレゼントします。希望される
方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込
みください。平成9年6月24日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 5月号係あて	930 00
氏名	年齢
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

とやま
水紀行

澄みきった水音が心を潤す

宮島峡(小矢部市)



▲「小ナイアガラ」の異名を持つ「一の滝」
▲水辺にたたずむ人魚の像

小矢部市街地から小矢部川の支流、子撫川沿いの県道を四キロほどさかのぼったところにある美しい峡谷が宮島峡である。
溪流に沿って山道を行くと、やがてゴーツという水音とともに「一の滝」が現れる。落差はわずか三メートルだが、幅が六十三メートルにも達し、水量の多い時期、川幅いっぱい流れ落ちる様は壮観。「小ナイアガラ」の異名を持つ所以である。また、湯水期には川底から大小様々のポットホール(甌穴)が顔を出す。これらは、滝から流れ落ちる小石が水流によって川底に丸い窪みをつくるもので、県の天然記念物にも指定されている。
一の滝から五百メートルほど上流にあるのが「二ノ滝」。三段になって流れ落ちるこの滝には時おり虹がかかり、見る者を幻想の世界へと誘う。さらに上流に行くと、昔から竜が棲むと伝えられている「竜宮淵(三ノ滝)」が姿を見せる。その水辺には、人魚の像がひっそりとたたずみ、神秘的な空気があたりを包みこむ。
杉や樺などの樹林と美しい清流、そして澄みきった水音を奏でる滝の数々…。それらが織りなす見事な調和は、訪れる人の心まで潤してくれるようだ。



【マスコットA】

新世紀へのさらなる発展の願いを含めて2000を浮き彫りにした「時の精」を表現。

2000年とやま国体マスコットの愛称募集

このたび制定した2000年とやま国体のマスコットの愛称を募集します。
マスコットは、チーフにしたマスコットの愛称をモチーフにしたマスコットの2種類。皆さんのご応募をお待ちしています。



【マスコットB】

2000年とやま国体に集うすべての人たちの夢を乗せて全国へ、そして未来へ幸を運ぶ「風の精」を表現。

※制作者 日本グラフィックデザイナー協会副会長 福田繁雄氏

【募集期間】

5月1日(木)～6月7日(土)まで(締切日当日消印有効)

【応募方法】

- (1) 官製はがき(または市役所および町村役場にある募集リーフレットに付いているはがき)または、電子メール(インターネット)にマスコットA、マスコットB両方の愛称を1点ずつ明記し、その簡単な説明を付け加えてご応募下さい。(A、Bどちらの愛称かわかるように記載して下さい。どちらか1点の応募でも構いません。)
- (2) 住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、職業、性別を記入して下さい。
- (3) 自作、未発表のものに限ります。

【賞】

マスコットAの愛称	マスコットBの愛称
最優秀賞 1点 10万円	最優秀賞 1点 10万円
優秀賞 3点 各2万円	優秀賞 3点 各2万円

【発表・表彰】

入賞者本人に直接通知します。
なお、発表・表彰は8月(予定)に行います。

【応募作品の取扱い】

- (1) 最優秀作品は「2000年とやま国体」のマスコットの愛称として使用しますが、その際補作することがあります。
- (2) 入賞作品の使用等に係る一切の権利は、第55回国民体育大会富山県準備(実行)委員会に帰属します。

【応募・問合せ先】

〒930 富山市安住町2番14号 北日本スクエア5階
第55回国民体育大会富山県準備委員会事務局内
「マスコット愛称募集」係あて
☎ 0764 (44) 9667
URL (インターネット) <http://www.pref.toyama.jp/kokutai/>